

大賞 OKOSAMA MADE

大村 洋二郎

子供の絵の無垢な美しさを表現しました。子供の描いた絵を等倍率でデータ化し展開図を作成、プリンターで出力した厚紙を組み立てて成形しています。組立前のパーツを入れる外箱は、80年代に大ヒットした某おもちゃメーカーのプラモデルのものをイメージしています。



準大賞 Human connection

松井いんこ

私達の生活はほぼ全てが人の繋がりが関わっていて、身の回りの様々なものはすべて人が考え、つくり、関わっている。私自身人付き合いが下手なのでもっとうまく関わりたいという願望も入っています。各々のキャラクターには国籍やちょっとしたプロフィールがあります。



特殊紙の分野で最先端をゆく企業特種東海製紙が、紙によるアート作品のコンペティション「紙わざ大賞」を開催しています。今回は、アーティスト、デザイナー、アマチュア、学生、主婦の作品まで、幅広い応募のなかから選ばれた、第25回紙わざ大賞入賞作品より30点を展示します。紙という素材の可能性や創造の魅力をどうぞお楽しみください。

紙わざ大賞 25

審査員

日比野克彦 (アーティスト)

1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。80年代に領域横断的、時代を映す作風で注目を浴び、近年では受取り手の感受力に焦点を当て、社会で芸術が機能する仕組みを創出する。現在、東京藝術大学教授、日本サッカー協会理事。2013-15年「六本木アートナイト」にてアーティストティックディレクターを務める。

福田美蘭 (画家)

1963年東京都生まれ。東京藝術大学大学院修了。1989年史上最年少の25歳で安井賞を受賞し注目を集める。様々なメディアや複製技術の氾濫する現代における美術に対して洞察の目を向ける作品を制作。2013年東京都美術館にて「福田美蘭展」を開催。父はグラフィックデザイナーの故福田繁雄氏。